

※議案名は、2～3ページを参照してください。

問 門性を生かし、市内の専門職にもつなぎ、ケースの内容を精査しながら取り組んでいきます。

問 介護給付費は増加する見込み、抑制が必要では。

答 介護給付費の中で、本市は特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設と費用が在宅よりも高額な3施設揃っているもので、高くなっています。施設の待機者も多数おられます。令和3年度、小規模多機能施設とグループホームの整備はします。

問 第3次湖南市障がい者の支援に関する基本計画、みんなで取り組むつばさプラン(素案)

問 農業推進が福祉の政策かという事業があるが、差別化されているのか。

答 現在の農福連携も障がい者の雇用で、商

工観光労政課と社会福祉課等、関係機関が連携して、1つの施策に作り上げています。

問 障がいの特性を把握しながら働きやすい環境づくり、農福連携の研修は。

答 地元農業者と発達支援室がその方の障がい程度によって、どういった支援が必要で、働きたいのある働き方がどういうものかという勉強会は行っています。

問 子育て支援機関の中に、家庭総合センターが入らないのか。

答 入れるように検討します。

問 手話通訳者設置事業の実績値は2人で推移しているが、今年度から会計年度任用職員制度になり実稼働時間が減って、手話通訳し欲しい時に不在と聞くが考え方について。

答 手話通訳2人が週4日フルタイムで、1

人も居ない状況にならないよう勤務体制を取っているが人員体制的に厳しい状況です。できる限り、手話通訳が対応できると良いのですが、タブレットなどのやり方について検討しています。

問 計画の目標値をあげるのに、国から全市町村が共通している事業はあるのか。

答 第5章の16の施策が全国共通で、第4章の施策は、市町の地域性に応じた独自施策といえます。

重層的支援体制整備事業

高齢者、障がい者、生活困窮者、子どもに関わる4分野に支援が必要な家庭に他機関との連携も考えて構築します。



## 議会改革推進特別委員会委員長報告

閉会中の調査  
2月8日

議会報告会・市民と議会の懇談会  
政策提言の具現化について

政策提言の進め方について講師を招いての研修を予定していたが、コロナウイルス感染拡大により開催できなかったために、他市の先進事例に関して調査を行い、その内容を委員会でも共有した。委員会代表質問での取り組みや、全国的に進められてきた地方分権、「政策研究能力をどう深めていけばいいのか」について学習会を行った。令和3年度の「議会報告・市民と議会の懇談会」の開催について考えをまとめていく。

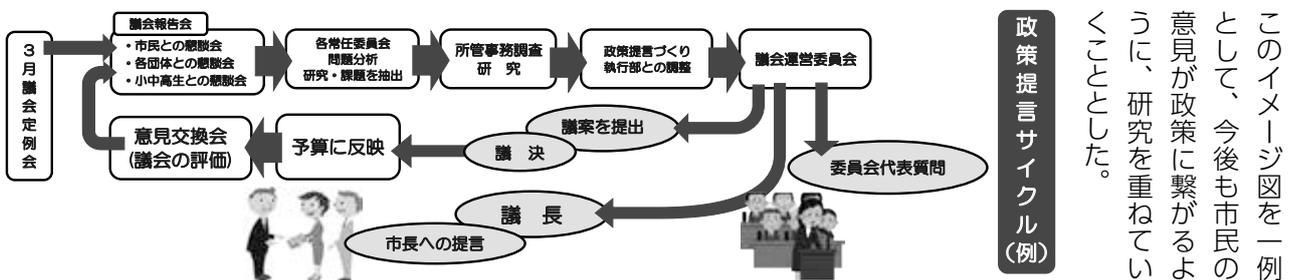
3月19日  
委員会  
事務事業評価移管の件  
・事務事業評価を決算  
常任委員会に移管する

議会報告・市民と議会の懇談会  
このイメージ図を一例として、今後も市民の意見が政策に繋がるように、研究を重ねていくこととした。

案として、議長に提出する事務事業成果について協議し、報告書を作成した。

議会報告・市民と議会の懇談会  
・議会報告・市民と議会の懇談会の開催について各会派の意見を集約して協議した。このまちをどういう街にしたいかなど、若い人の意見・中学生の意見を聞いてみてはどうか。また、常任委員会ごとに報告動画を作成し配信してはどうかといった意見が出されたが、議会報告・市民と議会の懇談会は改選後に開催を検討するとの意見が多数となり、協議の結果、議会報告・市民と議会の懇談会は改選後に開催を協議していくこととなった。

政策提言サイクル(案)  
・今までの学習を基に、湖南市の政策提言サイクル(案)を検討した。



政策提言サイクル(例)